

保健師実践能力 (案)

表 1

能力	能力の構成要素	能力及び構成要素の定義
専門的・倫理的・法的実践能力	プロフェッショナルとして、自らの判断や行動に責任を持ち、倫理的・法的規範に基づき保健師の活動を実践する能力	
	責務に基づく実践	保健師としての職業倫理に基づき、自らの判断や行為及びその結果に責任を負い、自身の役割や能力に応じた保健師の活動を行う
	倫理的実践	人々・コミュニティ(※1)の多様性・自律性、文化や価値観を尊重し、すべての人々が健康で安全な生活を送ることを保障し、健康の社会的公正に取り組む
	法に基づく実践	すべての人々の健康に関する権利をまもり、法令や所属組織等の規範に基づき保健師の活動を行う
ヘルスプロモーションの実践能力	ポピュレーションベースの原則(※2)に基づき、人々・コミュニティが自らの健康課題を改善・解決できるよう有機的な関係性を醸成し、継続的に健康支援を行う能力	
	コミュニティマネジメント	コミュニティ全体の健康課題を踏まえ、その変容を促すために必要な活動の計画・実施・評価・改善を組織的かつ総合的に展開し管理する。
	アセスメントと分析	個人・家族とコミュニティを連続的・重層的に関連づけ、その特性や実態を多角的に捉え、将来にわたる顕在的・潜在的ニーズと優先度を明確化する
	健康増進・予防活動	人々・コミュニティの特性や実態に応じて、その力量形成とリスク回避に向けて効果的な支援方策を見出し、健康なコミュニティづくりのために実践する
	調整と連携・協働	人々・コミュニティや他職種・他機関と目的を共有し、目標達成に向けた合意形成や課題解決のために、それぞれが役割・機能をもって連携し協働することを促進する
	ケアシステムの構築	人々・コミュニティの健康支援に必要な事業化・施策化やネットワーク化、社会資源の活用・開発を行い、実施体制を整備し、持続可能なシステムをつくる
公衆衛生看護管理能力	公衆衛生看護活動の展開を推進するために、コミュニティや組織の状況・役割に応じてリーダーシップを発揮しマネジメントする能力	
	情報・科学技術の活用と管理	健康課題の解決及びエビデンスに基づく実践に向けて、様々な健康情報や科学技術を活用・管理する
	人材育成・人材管理	人々・コミュニティの健康づくりに貢献できる人材を育成し、計画的に人材確保・配置及び定着のための支援を行い、組織的に必要な人材を管理する
	健康危機管理	平時より健康危機に備えて体制整備に取り組み、健康危機発生時は、迅速的確に対応するとともに活動体制を構築し、展開する
	組織マネジメント	保健師活動を効果的に行うための体制の構築・整備・運営を行うことで、ミッション・ビジョンを実現し、組織の成長や活動の発展を促進する
専門職性として発の能力と自律性	保健師として自律し、資質・能力の向上を図るとともに、実践を評価・改善・創造し、健康な地域社会に貢献する能力	
	専門性の強化と社会貢献	保健師としての専門性を自覚し、自ら知識・技術の更新を図り、専門性を向上させることにより社会に貢献する
	科学的探究と創造	物事・事象の原因や根拠を探求し、実践を多角的に検証し、専門的知識・技術を開発・創造する
	生涯学習とウェルビーイングの向上	専門職として生涯に渡り自己研鑽を行い、周囲の人々と共に学び合うとともに、保健師自身のウェルビーイングを向上する

※1 コミュニティ:コミュニティの構成要素には、個人・家族、集団、組織、地域社会が含まれる。コミュニティは、共通の目的や地域特性(文化・習慣、暮らし、産業、自治体等)などによる社会的なつながりがあるもの。

※2 ポピュレーションベースの原則:誰一人取り残さず、すべての人の健康を実現するために、個を大事に、そして常にポピュレーションを視野に入れながら、臨機応変に個人やコミュニティ、システムにフォーカスして包括的に事象を見る原則。個から全体、全体から個という双方向で見ること、複眼的・多角的な視点で総合的に見る原則。